

令和 7 年度事業報告

I 総括

本会は、健康でたくましい県民の育成を図るため、「福井県スポーツ協会基本計画」に基づき、県民総スポーツおよび競技力向上を目指して積極的に各種事業を実施した。

- 第 79 回国民スポーツ大会（滋賀国スポ）に向けて、強化練習・遠征等の競技力向上対策に取り組んだ。この結果、第 46 回北信越国民スポーツ大会では、本大会出場権を 65 種目獲得することができた。また、本大会では 22 競技で入賞し、総合得点 1,278.5 点を獲得（参加点 400 点含）、天皇杯 14 位および皇后杯 12 位となり目標としていた 10 位台を達成できた。競技団体代表者との意見交換も行いながら、県、本会、競技団体等が一体となって、目標達成に向けて競技力向上対策を推進した。なお、第 80 回国民スポーツ大会冬季大会では天皇杯 25 位と健闘しており、本大会への弾みがついている。
- 地域スポーツの振興として、県内各地で県民スポーツ祭を開催した。また、市町スポーツ協会や競技団体等の活動助成や、スポーツ少年団および総合型地域スポーツクラブ等の育成支援を行った。

II 事業内容

1 競技力向上事業

(1) 競技力向上対策事業

本県の競技力向上を図るため、各事業を積極的に取り組んだ。

事業名	内 容
国スポ強化対策事業	競技団体に対し、当年・次年大会に向けた強化費を補助した。 <u>41 競技</u>
プレ強化事業	競技団体に対し、次年大会に向けた強化費を補助した。 <u>26 競技</u>
アスリートの UI ターン推進事業	①県内強豪高校の選手に対し、下宿費を補助した。 <u>77 名（12 競技）</u> ②オリンピックを目指す県内選手に対し、活動費を補助した。 <u>3 名（2 競技）</u>
未来のアスリート発掘・育成事業	①合同競技体験会の実施 中学校に部活が無い、または少ない競技（11 競技）の体験会を実施した。・令和 7 年 7 月 6 日 セーレン・ドリームアリーナ 316 名 ②ふくいジュニアアスリートアカデミーの実施 トップアスリートを目指す子どもたちに対して、年間を通じて、スポーツに関する知識・運動能力等を高める育成プログラムを（6 年生 18 回、5 年生 17 回）提供した。また、中学校に部活動がない競技（指導体制が整っているところに限る）のタレント発掘（選考会）を行った。 <u>選考人数 33 名</u> ③競技団体の備品整備 ふくいジュニアアスリートアカデミーに参画する競技団体に備品整備費を補助した。 <u>8 競技</u>

事業名	内 容
ジュニア育成強化事業	①競技団体に対し、ジュニア選手の発掘・育成費を補助した。 <u>25 競技</u> ②競技団体に対し、年間を通じて活動する、U-15 セレクションチームの活動費を補助した。 <u>18 競技 25 チーム</u> ③競技団体に対し、ジュニア強化大会等の開催費を補助した。 <u>14 競技</u>
小・中学生優秀クラブチーム強化事業	中央競技団体主催の全国大会に最も多くの選手を輩出しているクラブチームに対し、強化活動費を補助した。 <u>小学生 21 チーム (16 競技)・中学生 20 チーム (15 競技)</u>

(2) 積善会スポーツ振興事業

積善会助成金を活用し、少年選手のスポーツ振興に取り組んだ。

事業名	内 容
ジュニアアスリートサポート事業	国際大会等に日本代表として出場するジュニア選手に対し、 激励金を交付した。 <u>23 名 (5 競技)</u>

(3) 関係会議等開催事業

スポーツ関係団体との連携・協力を図るため、諸会議を開催した。

会 議 名	内 容
競技力向上対策委員会	国民スポーツ大会に向けた競技力向上対策を検討した。 ・令和 7 年 6 月 18 日 セーレン・ドリームアリーナ ・令和 7 年 11 月 13 日 セーレン・ドリームアリーナ
国民スポーツ大会 入賞対策会議（県と共催）	各競技団体と当年大会の上位入賞に向けた強化対策を確認した。 ・令和 7 年 6 月 30 日 福井商工会議所
国民スポーツ大会 結果検討会（県と共催）	当年大会における本県選手団の結果の総括および次年大会に向けた強化対策を協議した。 ・令和 7 年 11 月 21 日 フェニックス・プラザ
競技力向上対策事業説明会	国民スポーツ大会に向けた競技力向上対策の具体的方策を情報提供した。 ・令和 8 年 3 月 13 日 福井県中小企業産業大学校

2 国スポ等派遣事業

(1) 国スポ派遣事業

国民スポーツ大会に、本県代表として選考された監督・選手を派遣した。

大会名	会 期	開催地	参加者数
第 79 回国民スポーツ大会	令和 7 年 9 月 28 日～10 月 8 日 <会期前実施> 体操等：9 月 6 日～	滋賀県	539 名
第 80 回国民スポーツ大会 冬季大会	<スケート・アイスホッケー競技会> 令和 8 年 1 月 31 日～2 月 8 日 <スキー競技会> 2 月 14 日～17 日	青森県	59 名

(2) 北信越国スポ派遣事業

北信越国民スポーツ大会等に、本県代表として選考された監督・選手を派遣した。

大会名	会期	開催地	参加者数
第46回北信越国民スポーツ大会	令和7年8月22日～24日 ＜会期前実施＞カヌー等：6月1日～	富山県他	740名
第80回国民スポーツ大会冬季大会 フィギュア競技予選会	令和7年11月29日～30日	滋賀県	3名
第80回国民スポーツ大会冬季大会 アイスホッケー競技会 北信越・東海ブロック予選会	令和7年12月12日～14日	愛知県	20名

3 スポーツ医科学サポート事業

(1) 競技力向上事業

福井県スポーツ医・科学委員会の各部会(S-Dr、S-Dent、AT、S-栄養士、S-心理士、S-Ph、S-科学者、S-指導者)により、国民スポーツ大会を目指す強化指定選手および指定候補選手をサポートし、競技力向上を図った。

事業名	内容
アンケートによる メディカルチェック	国民スポーツ大会強化指定選手(1,407名)に対し、プロフィール、メディカル、医薬品・サプリメント、栄養、心理について Web によるアンケートで情報収集・分析を行い、アスリートカルテを作成した。また、福井県スポーツ医科学センターでの直接検診(7名)を行った。
各競技団体への 専属と国スポ帯同	18 競技団体 43 種別に APT (23 名)、41 競技団体に S-Ph (28 名) を専属させ、Web アンケートによる回答を用いて以下のサポートを行った。また、国民スポーツ大会へは、S-Dr、APT が帯同した。 ・APT は、メディカルアンケートより選手の身体状況を確認し、経過観察または医科学センターへの受診の必要性についてトリアージを行った。また、二次業務として、フィジカルチェック、フィジカルトレーニング指導を実施した。 ・S-Ph は専属選手の服用薬確認とドーピング防止活動を行った。
研修会・研究会	選手や指導者の、スポーツ医科学に対する知識向上を目的に、心理、栄養、アンチ・ドーピング、女性アスリートサポートの出前研修会を行った。他にも、国民スポーツ大会に出場する選手を中心にアンチ・ドーピング研修会を開催(年3回・362名)した。 サポートに係る全ての部会員(特に S-指導者 部会員)を対象に、最新のスポーツ医科学に関する情報を提供する為に、「福井県スポーツ医科学研究大会」を開催した。 ・令和7年11月30日 福井県医師会館

(2) 未来のアスリート発掘・育成事業への医科学サポート

ふくいジュニアアスリートアカデミー選考会では、S-科学部会を中心に専門測定機材を使った科学的な計測を行い、受講生を選出するとともに、アカデミーでは各部会の専門家による講義や実技指導を行った。

部 会	サポート内容
S・科学部会 S・指導者部会	選考対象者 89 名より、ふくいジュニアアスリートアカデミー受講生 39 名を選出。 実技トレーニング：6 回
S・Dr 部会	スポーツ医学（性とアスリート）：1 回
S・心理部会	メンタルトレーニング：9 回（保護者向け：2 回）
S・栄養部会	スポーツ栄養学：5 回（保護者向け：1 回）
S・Ph 部会	アンチ・ドーピング：1 回

4 競技会開催事業

(1) 県民スポーツ祭開催事業

気軽に参加できる幅広いスポーツ活動の実践の場を提供し、競技スポーツおよび生涯スポーツの普及・振興を図るため、県内各地において「県民スポーツ祭」を開催した。

区 分	開催期日	開催地	参加者数
68 競技・種目	令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月	県下各地	25,107 名
総合開会式	令和 7 年 7 月 12 日	セーレン・ドリーム アリーナ	615 名
みんなでスポーツフェスタ			182 名
スポカル FUKUI2025	令和 7 年 12 月 13 日～14 日	サンドーム福井	4,055 名

5 関係団体育成事業

(1) スポーツ振興事業

本会正加盟の市町スポーツ協会や競技団体等が行うスポーツ普及振興事業に助成した。(64 団体)

(2) スポーツ少年団育成事業

各種大会等の開催をはじめ、指導者の養成と資質向上ならびに母集団の整備等を推進した。令和 7 年度の福井県スポーツ少年団の登録は、団数 345 団、団員数 6,746 名、指導者数 896 名、役員・スタッフ 762 名となった。

事 業 名	内 容
第 52 回日独スポーツ少年団 同時交流事業（派遣・受入）	日独両国の友好と親善を深めるため、スポーツ少年団の青少年および指導者が相互交流を行っており、令和 6 年度は団員 2 名を派遣した。（7 月 30 日～8 月 13 日）
第 60 回福井県スポーツ少年大会	県内のスポーツ少年団員が一堂に会し、大会を通じて交流を行った。 ・令和 7 年 8 月 31 日 大野市・勝山市 1,540 名
指導者および育成母集団研修会	指導者および団員保護者に対して研修会を開催した。 ・令和 7 年 9 月 20 日 南条地区公民館 29 名
スタートコーチ（ジュニア・ユース） 養成講習会	スポーツ少年団向けの指導者資格養成講習会を開催した。 ・令和 7 年 10 月 18 日 高浜町文化会館 30 名 ・令和 7 年 11 月 29 日 ジオアリーナ 48 名 ・令和 7 年 12 月 6 日 越前市生涯学習センター 45 名

事業名	内 容
アクティブ・チャイルド・プログラム (JSPO-ACP) 普及推進研修会	アクティブ・チャイルド・プログラム (JSPO-ACP) を周知・普及するため、指導者や保護者、教育関係者に対して研修会を開催した。 ・令和 8 年 1 月 31 日 福井市体育館 19 名 ・令和 8 年 2 月 21 日 おおい町総合運動公園体育館 13 名

(3) スポーツ指導者協議会育成事業

日本スポーツ協会公認スポーツ指導者の資質向上と活動促進を図るため、スポーツ指導者等表彰の推薦や、スポーツ指導者研修会を開催した。令和 7 年度の福井県スポーツ指導者協議会の会員は、2,754 名となった。

(4) 総合型地域スポーツクラブ育成事業

総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度の運用サポートや、クラブ運営につながる研修会の開催などを通じて、安定・自立したクラブづくりを支援した。

事業名	内 容
総合型地域スポーツクラブ 強化支援事業	①育成支援 総合型クラブ運営者を対象に、持続可能なクラブ運営や今後の総合型クラブの在り方について意見交換会を行った。 ・令和 7 年 4 月 26 日 セーレン・ドリームアリーナ 21 名 ②市町連携支援 総合型クラブ運営スタッフや市町行政担当者を対象に、クラブ活性に向けた、クラブ目線と行政目線のキーワードや行政連携の事例を紹介した。 ・令和 8 年 2 月 27 日 セーレン・ドリームアリーナ 16 名
登録認証支援事業	①総合型地域スポーツクラブ全国協議会の登録クラブにするために、実地審査や登録審査委員会を開催した。 <u>令和 8 年度登録クラブ (令和 7 年度申請) : 22 クラブ</u> ②日本スポーツ協会公認アシスタントマネジャー養成講習会を開催した。<u>受講者 5 名</u>
機能強化支援事業	総合型地域スポーツクラブ全国協議会の登録クラブに対し、認知度向上や会員拡大に向けたイベントの事業費を補助した。 <u>8 クラブ</u>
クラブアドバイザー配置事業	総合型クラブの創設や活動・運営がスムーズに行えるよう、クラブアドバイザーを配置し、巡回指導などを行った。
地域スポーツクラブ 推進体制基盤強化事業	地域のスポーツ環境の基盤を強化するため、関係者による会議や、現場に携わる方同士の意見交換会等を実施した。 <u>連絡会議 2 回、意見交換会・研修会 2 回</u>

6 スポーツ指導者育成事業

(1) スポーツ指導者養成講習会事業

県内スポーツ指導者が適切・効果的な指導方法を学ぶため、日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格の取得講習会を開催した。

資格種類	講習会名	受講者
競技別指導者資格	コーチ 1 養成講習会（軟式野球）	中止（日程調整不可のため）
マネジメント資格	アシスタントマネージャー養成講習会	5 名

(2) スポーツ指導者研修会事業

県内スポーツ指導者の資質向上と活動促進を図るため、福井県スポーツ指導者協議会の協力を得て研修会を実施した。

研修会名	開催期日	開催場所	参加者数
越前市スポーツ指導者研修会	令和 7 年 11 月 30 日	アイシン・スポーツアリーナ	20 名
福井県スポーツ指導者研修会	令和 8 年 2 月 23 日	ハートピア春江	268 名

7 広報・情報提供事業

(1) 広報普及活動事業

国際大会や国スポ等における本県選手の活躍、事業活動内容、各種表彰等を広報するため、「スポ協ニュース」を発刊した。（3 回計 4,700 部）

(2) スポーツ情報公開事業

ホームページや SNS 等を活用して、当協会に関する情報を積極的に公表するとともに、当協会の諸事業活動を周知した。

8 国際交流事業

(1) 地域交流（県・市町交流）

地域レベルでの相互理解と友好親善を深めるとともにスポーツ振興を図るため、加盟団体に対して国際交流事業の開催方法を提案した。

9 表彰事業

本県のスポーツ振興に著しく貢献したものを表彰した。

表 彰 名	対 象 者	実施期日	受賞者数
特別表彰	本県のスポーツ振興に長年にわたって尽力し、特に顕著な功績を残した者	令和 8 年 1 月 23 日	5 名 3 団体
スポーツ功労者賞 スポーツ功労団体賞	本会または加盟団体の発展のために長年尽力し、功績が顕著な個人・団体		25 名
優秀選手賞	当年内に、全国大会ならびに国際大会で優秀な成績を収めた者		201 名
優秀指導者賞	前項の優秀選手を育成した指導者		2 名
国民スポーツ大会賞	当年国スポで、天皇杯および皇后杯得点に貢献した競技団体、監督、選手	令和 7 年 11 月 21 日	282 名 6 チーム 26 団体

10 その他

(1) 全国大会、ブロック大会および県大会の共催・後援

本会加盟団体等の主催大会に名義共催・後援した。(計 89 回)

(2) 安全管理の強化の取り組み

「国民スポーツ大会参加者傷害補償制度」「加盟団体の賠償責任保険」「スポーツ安全保険」への加入を促進した。

(3) スポーツ安全協会普及等業務

令和 4 年度より、スポーツ安全協会普及等業務を本協会で受託している。スポーツをされる方々が安心して活動できるよう、普及広報に努めた。

【令和 7 年度本県加入実績】

対象活動	加入区分	加入者数
中学生以下のスポーツ・文化活動	A1・AW	37,785 名
高校生以上の文化活動等	A2	2,330 名
65 歳以上のスポーツ活動	B・BW	4,347 名
高校生以上のスポーツ活動	C・CW	13,916 名
危険度の高いスポーツ活動	D	0 名

令和 7 年度附属明細書

令和 7 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書に記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しない。